

経済学部A方式 I 日程・社会学部A方式 I 日程・現代福祉学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～16	日 本 史	18～36
世 界 史	38～53	地 理	54～62
数 学	64～69		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学は以下の注意事項に従うこと。
 - ・解答用紙の所定欄の受験学部を○で囲むこと。
 - ・解答はおもて面と裏面の所定の位置に、上下の方向に気をつけて記入すること。
 - ・解答を導く途中経過も書くこと。
 - ・その他、解答用紙に記載された指示にしたがい解答すること(この指示どおりでない場合は採点の対象としない)。
 - ・定規、コンパス、電卓の使用は認めない。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

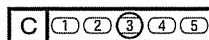
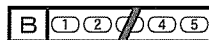
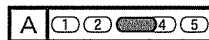
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(世界史)

〔I〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

2018年は、ヨーロッパ各地を席捲した「1848年革命」から170年にあたる年であった。この革命の主たる流れを、西欧社会のパリ・ベルリン・ウィーンなどの諸都市に噴出した西欧市民の諸要求のなかに見れば、その主役は「2月革命」、あるいは「3月革命」ということになる。しかし、この革命は地域を超えて、ヨーロッパ各地に大きな影響を及ぼし、自由主義・民主主義などの西欧的理念と深い葛藤を生み出す運動にもなった。

ここでは、「諸国民の春」と呼ばれる、ヨーロッパ各地で高揚したナショナリズム運動とその後の展開について、イタリア・ハンガリーを中心に見てみよう。

ウィーン体制下のイタリアは、王国、ローマ教皇領、王国、その他の小国に分かれており、ウィーン会議の最終議定書では北イタリアの・⁽¹⁾がオーストリア領となった。ウィーン会議の後、ヨーロッパを襲った革命の第一波は、1810年代後半～20年代に高揚を見せた自由主義的改革運動である。イタリアでは秘密結社⁽²⁾が組織され、1820年代はじめにナポリとピエモンテで革命運動を起こした。は、ヨーロッパを襲った革命の第二波となるフランスの7月革命の影響をうけ1831年にも中部イタリアで蜂起をしたが、少数エリート主導で大衆との接点が欠如していたこともあって運動は広がらず、オーストリア軍によって鎮圧された。の一員であったは、1831年に亡命先のマルセイユで「青年イタリア」を組織し、1849年、教皇領に樹立された共和国に参加したが、フランス軍の介入でこの共和国は短命に終わった。

とはいえ、同時期には、ミラノ・をはじめとする諸地域で独立運動が展開されるなど、民族統一と独立を目指す動きはすでにイタリア全体を覆い始めていた。1720年にサヴォイア家を王家とし、ピエモンテと島を領有して成立した王国も、1848年3月に憲法を定め、オーストリアに宣戦

した。このときは敗北したが、その後、王位に就任した **Ⅱ** は、貴族出身の自由主義的な立憲主義者である **Ⅲ** を首相に登用して国内の近代化にため、ナポレオン3世と秘密同盟を結んだのち、1859年にイタリア統一に向けた第二次対オーストリア戦争をおこした。**B** 王国はこの戦争に勝利し、オーストリアから **1** を獲得した。さらに、この王国は1860年にはナポレオン3世の合意を得て中部イタリアを併合し、その代償としてフランスにサヴォイアと **4** を割譲した。同じ時期、「青年イタリア」出身で、**B** 王国のイタリア統一戦争に参加していたガリバルディは、千人隊を率いて1860年に **A** 王国を制圧し、占領地を **Ⅱ** にゆずった。

こうして1861年にイタリア王国が成立し、**Ⅱ** が初代国王となった。その後、イタリア王国は1866年、プロイセン＝オーストリア戦争にプロイセン側で参戦して勝利し、その結果、オーストリア領の **2** を併合した、イタリア王国は1870年にはプロイセン＝フランス戦争に乗じてローマ教皇領を占領し、ついに国家統一を実現した。しかし、「未回収のイタリア」問題は残り、その後のイタリアの歴史に大きく作用することになった。⁽⁵⁾

ハンガリーでは、ウラル語系に属するマジャール人が立てたハンガリー王国が長く栄えてきたが、16世紀以降はオスマン帝国の支配下に入り、その後はオーストリアとオスマン帝国がハンガリー領有をめぐる衝突を繰り返してきた。1699年にオーストリア・ポーランド・**2** とオスマン帝国との間で結ばれた講和である **5** 条約によって、オーストリアはハンガリー全域を獲得した。

ウィーン体制を主宰してきた宰相メッテルニヒを擁するオーストリアでも、ウィーンで3月革命が発生するとオーストリア支配地域で民族運動が発生した。ハンガリーでも、民族運動の機運が大衆の間で高まり、1848年3月には樹立した責任内閣の承認をオーストリアから勝ち取った。しかし、パリ6月蜂起の鎮圧でヨーロッパでの革命の機運が衰退の方向に向かうとオーストリアは強硬策に転じ、**6** 総督のイエラチッチを派遣してハンガリーの民族運動を弾圧した。ハンガリーはこうした動きに抗して、翌年49年には **Ⅳ** を執政として独立戦争を起こしたが、8月にオーストリアを支援したロシア軍に敗北し、運動は鎮圧された。オーストリアでは3月革命以降の混乱下で1848年12月に **V** が即

世界史

位し、1850年代には皇帝専制体制の維持を図ったが、1866年にプロイセン＝オーストリア戦争に敗れると、翌年1867年にハンガリーを王国として認めるアウスグライヒ(妥協)を行い、同君連合国家オーストリア＝ハンガリー帝国が誕生した。

ハンガリーがオーストリアとの連合を解消するのは、この帝国が敗戦した第一次世界大戦後であったが、敗戦に伴うハンガリーの損失は多大であった。

問1 空欄 から に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| a アドリアノーブル | b アーヘン | c ヴェネツィア |
| d カルロヴィッツ | e クロアチア | f コルシカ |
| g セルビア | h ダルマチア | i チュニス |
| j トスカナ | k トリノ | l ニース |
| m フィレンツェ | n ベッサラビア | o ベーメン |
| p マルセイユ | q ローマ | r ロンバルディア |

問2 空欄 から に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| a ヴィットーリオ＝エマヌエーレ2世 | |
| b ヴィルヘルム1世 | c ヴェルディ |
| d カヴール | e カルロ＝アルベルト |
| f カンプハウゼン | g クン＝ベラ |
| h コシュート(コッシュュート) | i パラツキー |
| j プッチーニ | k フランツ1世 |
| l フランツ＝ヨーゼフ1世 | m フランツ＝フェルディナント |
| n マッツイーニ | o マルコーニ |

問3 空欄 から に当てはまるもっとも適切な語句を解答欄に記述せよ。

問4 下線部(1)に関して、次のア～オのうち、ウィーン会議の結果、1815年11月に成立した四国同盟の加盟国でない国をひとつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア イギリス イ オーストリア ウ フランス
エ プロイセン オ ロシア

問5 下線部(2)に関して、1825年12月にロシア青年貴族士官たちが起こした蜂起の名前を解答欄に記述せよ。

問6 下線部(3)に関して、次のア～エのうち、ナポレオン3世の第二帝政期に行われたフランスの軍事行動を開始年順に並べて三番目になるものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア アロー戦争 イ インドシナ出兵
ウ クリミア戦争 エ メキシコ出兵

問7 下線部(4)に関して、次のア～エのうち、この占領の年(1870年)以来、ローマ教皇庁と絶縁状態にあったイタリア政府が、ラテラノ(ラテラン)条約の調印でヴァチカン市国の独立を認めた年として正しいものを選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 1919年 イ 1922年 ウ 1926年 エ 1929年

世界史

問8 下線部(5)に関して、以下の文章の①②に当てはまるもっとも適切な語句を次のア～クの選択肢から選び、解答欄に記述せよ。

1882年にドイツ・オーストリアと三国同盟を結んだイタリアは、「未回収のイタリア」をめぐるオーストリアと対立を深め、その回収を目的の一つとして、第一次世界大戦勃発後の1915年に連合国側と 秘密条約を結んだ。しかし、戦後、その回収の多くは認められなかった。その後、イタリアは繰り返し とフィウメの領有を争い、1920年に自由市となっていたフィウメを1924年に併合した。

- | | |
|---------------------|-------------|
| ア アルバニア | イ オーストリア |
| ウ ギリシア | エ サントペテルブルク |
| オ セルブ＝クロアト＝スロヴェーン王国 | |
| カ パリ | キ ローマ |
| ク ロンドン | |

問9 下線部(6)に関して、次のア～エのうち、1848年6月のプラハ蜂起に参加し、チェコ国民楽派の創始者とされる、代表作「わが祖国」を作った作曲家を一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------|-----------|
| ア シューベルト | イ スメタナ |
| ウ ドヴォルザーク | エ ムソルグスキー |

問10 下線部(7)に関して、次のア～エのうち、1878年のベルリン条約ですでにオーストリアによる占領と行政権を認められていた地域で、1908年に青年トルコ革命の混乱に乗じて、オーストリアが完全併合したバルカン半島の地域を一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-----------------|----------|
| ア アルバニア | イ セルビア |
| ウ ボスニア・ヘルツェゴヴィナ | エ モンテネグロ |

問11 下線部(8)に関して、次のア～エのうち、1920年に連合国とハンガリーとのあいだで結ばれ、ハンガリーが領土面積の3分の2を失うこととなった講和条約の名前を一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア サン＝ジェルマン条約

イ セーヴル条約

ウ トリアノン条約

エ ヌイイ条約

世界史

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

歴史の始まりというものは事柄の存在証明が難しく、その多くは神話や伝説をよりどころとしたり、考古学、古生物学、地質学的な発見によって裏付けされ、確認されることになる。中国古代の歴史をみても、司馬遷のあらわした『史記』には、古く中国には夏・・周の三大王朝があったと書かれており、そこには夏王朝の世系表や治水事業に功績があったの偉業などが詳細に書かれている。しかし、その実在を示すものはないため夏王朝は未だ文献上の伝説となっている。夏王朝が滅び、それにかわった王朝からは確実に歴史時代に入るといわれ、これが中国最古の王朝とされている。それは1899年の亀甲や獣骨に刻まれた甲骨文字の発見にはじまり、以後の遺跡から巨大墓跡や神殿跡、青銅器、象牙細工品などが発掘され、その実在が証明されたからである。

一方、それよりさらに遡る前5000年から前3000年頃におこった黄河文明の出発点である文化は、竜骨を集めていたスウェーデンの地質学者アンダーソンによってその遺跡が発見⁽¹⁾された。この文化は明るい彩陶を特色とする。前2500年から前2000年頃黄河下流域を中心に発展した文化は黒陶を特色とする。この両文化の中心地でもあった黄河中原は中国文明発生の地であり、以後、諸勢力による主導権争いと中国統一への攻防が繰り広げられる舞台ともなっていく。

古伝によると、前11世紀頃渭水流域に定住していた周の王は天命を受けたとして、暴政をしいたの王を牧野の戦いで破り、に都をおき、封建的な制度によって支配体制を確立した。『史記』によると、王のあとには11代の王が位を継ぐが、12代目の王が政治をみだし、遊牧系民族のに襲われ都を攻略されたという。周の一族は東に逃れ、に遷都したが、それ以後王権は衰え、諸侯が割拠・興亡する分裂の時代となった。

一般に、この遷都をさかいにそれまでを西周時代、それ以後を東周時代とよび、東周前期を春秋、東周後期を戦国時代ともよぶ。春秋戦国という時

代区分は、 国の史官が残した年代記をもとに、孔子が編纂しなおしたとされる『春秋』と、当時の雄弁家たちの策謀や弁論を集めた 代の書『戦国策』にもとづいて生まれた。春秋・戦国時代は分裂の時代であったが、中国全体の観点からみれば、居住範囲や中国民族の文化区域を拡大して、中国統一の基礎を作ったという点で重要な時代でもあった。周王室が弱体化するなか、夷狄とよばれた異民族の侵略や略奪から中原を守り、王室の内紛をしずめ、諸侯と同盟を結び、その盟主となることで夷狄を撃退する有力諸侯が現れ、彼らは周王から覇者と認められた。⁽³⁾

戦国時代のはじまりは諸説あるが、春秋時代において中原の一強国であった晋が三国に分割されたことを契機としているとよい。この時代は七雄とよばれる強国を中心に激しく勢力争いが繰り広げられ、諸侯は周王を無視して王を名乗る実力主義の下克上の世界となった。こうした政治的激動のなかで新しい秩序が求められるとともに有能な人材が求められ、諸子百家とよばれる思想家たちがあらわれた。⁽⁴⁾ また、社会・経済面でも大きな変革が起こり、青銅貨幣が鑄造され、銅銭による納税もはじまった。前4世紀半ば頃から政治改革によって国力をつけた秦は、前221年に を倒して中国統一を果たした。⁽⁵⁾ 始皇帝は統一後、前350年以来都であった に富豪を移住させて大都市としたが、秦滅亡のさいに は焼きはらわれた。⁽⁶⁾

問1 空欄 から に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| a 殷 | b 禹 | c 衛 | d 燕 | e 漢 | f 堯 |
| g 呉 | h 舜 | i 蜀 | j 新 | k 政 | l 斉 |
| m 楚 | n 宋 | o 紂 | p 陳 | q 氏 | r 湯 |
| s 武 | t 幽 | u 梁 | v 魯 | | |

世界史

問2 空欄 から に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | |
|------|------|-------|-------|------|
| a 安邑 | b 烏孫 | c 華南 | d 河姆渡 | e 邯鄲 |
| f 咸陽 | g 仰韶 | h 匈奴 | i 月氏 | j 犬戎 |
| k 鎬京 | l 紅山 | m 三星堆 | n 長安 | o 平城 |
| p 洛邑 | q 竜山 | r 良渚 | | |

問3 下線部(1)に関連して、以下の文章の空欄 と に当てはまるもっとも適切な人物名を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

19世紀～20世紀前半は、世界の各地で古代の文明が考古学的発掘によって明らかにされた時期である。例えば、ドイツの考古学者 がトロイア・ミケーネ遺跡の発掘に成功し、イギリスの考古学者 は1900年以後にクレタ文明の中心となったクノッソス宮殿跡を発掘し、線文字の刻まれた粘土板を発見した。

- | | | |
|-----------|----------|---------|
| a ヴェントリス | b エヴァンズ | c サヴィニー |
| d シャンポリオン | e シュリーマン | f ランケ |
| g ローリンソン | | |

問4 下線部(2)に関して、次のア～エのうち、孔子に関わることの説明として誤っているものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 孔子は「修身・齐家・治国・平天下」の道を説いて徳治主義を主張した。
- イ 孟子は孔子の説を継承・発展させ、性善説をとらえ、王道政治を理想とした。
- ウ 荀子は孔子の仁を差別的として批判し、無差別の愛を説いた。
- エ 『論語』は孔子の死後、弟子が編集したものである。

問5 下線部(3)に関して、次のア～エのうち、管仲を宰相にして商工業化を進め、また北上する楚をうった覇者をひとつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 秦の穆公 イ 晋の文公 ウ 齊の桓公 エ 宋の襄公

問6 下線部(4)に関して、分割された三国の国名を漢字で解答欄に記述せよ。

問7 下線部(5)に関して、以下の①～④の学派に対応するもっとも適切な人物を次の選択肢から選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ① 農家 ② 名家 ③ 陰陽家 ④ 縦横家
- a 許行 b 屈原 c 公孫竜 d 勾踐 e 呉子
- f 鄒衍 g 孫臏 h 孫武 i 張儀 j 夫差
- k 老子

世界史

問8 下線部(6)に関して、次のア～エのうち、秦の孝公につかえ、什伍の制、度量衡の統一などによって富国強兵の基礎をつくり、国の強大化に貢献した人物の名前をひとつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 晏子

イ 商鞅

ウ 李斯

エ 呂不韋

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

第一次世界大戦の終結と対ドイツ処理の目的で、1919年6月にパリ郊外のヴェルサイユで連合国とドイツの間に講和条約が調印された。これを通じドイツは法外な賠償金のみならず、軍備制限や植民地の放棄、領土の割譲などを命じられた。⁽¹⁾賠償金支払い総額は1320億金マルクと見積もられたが、4年にわたる総力戦の果てに疲弊した国力を考えれば、ドイツの支払い能力をはるかにしのぐ過酷な責務であった。ドイツ側の支払いが遅延したことを理由に、1923年1月にフランスとベルギー両軍はドイツ西部最大の工業地帯である 地方を占領した。これを境に大战末期以来進行していた は苛烈を極め、ドイツの通貨価値は大戦中の1兆分の1まで暴落し、経済は機能不全に陥った。未曾有の事態を前に社会不安は増大し、右翼政党や国粹主義者の台頭を招く結果となった。1923年11月にドイツは土地財産などを担保に新しい通貨である を発行し、旧通貨との交換を通じてようやく は収束した。この後ドイツ社会は一旦落ち着きを取り戻し、1928年まで相対的な安定成長期を迎えた。ドイツ経済の復興と欧州の安定を考え、1924年に 案と呼ばれる賠償支払い方法の緩和が採択された。これに際し、アメリカは賠償支払いが滞りなく行われるようにドイツへ多額の融資を行った。

また、国際政治面では第一次世界大戦後、アメリカ大統領 の提唱の下、平和維持へ向けた国際協調の取り組みとして国際連盟が結成されたが、敗戦国ドイツはさしあたりそれへの参加を認められなかつた。⁽²⁾1925年には 条約と呼ばれる、ドイツ・フランス・イギリスをはじめ、そのほかドイツ周辺諸国を伴った集団安全保障条約が締結された。⁽³⁾この中でドイツはその西部国境線の現状維持を承認し、これを通じて1926年にドイツの国際連盟への加盟が実現し、国際社会への復帰を果たした。

20年代後半に入ると、ドイツの賠償支払い軽減に関しても再び議論がなされた。1929年にアメリカの銀行家が主導する賠償削減案である 案が提案されたが、ここで支払い総額はいくらか減額されたものの、なお今後59年間にわたる返済が条件とされたため、ドイツ国民に大きな反対運動が巻き起こった。

世界史

1929年10月のニューヨーク株式相場の大暴落によって引き起こされた世界恐慌は、ドイツの復興に激しい打撃を与えた。アメリカはそれまで海外に投資していた資金を急速に引き揚げ、さらに ⑥ 関税法に基づき国内産業の保護を目的として、農産物を中心に輸入関税を著しく引き上げた。これは他国による報復関税と列強間のブロック経済化を促し、世界経済を縮小させた。アメリカの保護主義に対抗し、また世界恐慌を乗り切る目的で、イギリスは Ⅲ 連邦会議を招集し、イギリス連邦内で特惠関税協定を締結し、イギリスを中心とするスターリング=ブロックの形成を図った。ドイツの受けた経済的打撃はすさまじく、1930年代初めの失業率は30%を超え、約600万人が職を失った。また1931年にアメリカはドイツに対して賠償金の支払いと対米債務の一年間の支払い猶予を決定した。これらの猶予措置は ⑦ =モラトリアムと呼ばれるが、大きな効果はなかった。

経済危機と社会不安を背景に、ドイツでは右派・左派双方で政治の急進化が見られた。とりわけヒトラーを党首とする ⑧ は、フランスやイギリスといった旧敵国に指導されたヴェルサイユ体制を諸悪の根源として批判し、それを受諾したヴァイマル共和国政府をも弾劾した。⑧ は困窮する大衆へアピールすることを通じてその政治勢力を伸ばした。またヒトラーは人種差別イデオロギーを掲げて大衆をユダヤ人排斥へと扇動した⁽⁴⁾。世界で最も民主的な憲法を擁する国家として讃えられたヴァイマル共和国だが、経済危機と社会不安の末、1930年代初めには議会主義の空洞化に陥った。1933年1月ヒトラーは首相に任命され⁽⁵⁾、第一次世界大戦の敗戦とともに誕生した共和主義政府は事実上終焉した。賠償問題では恐慌の拡大を受けて1932年に開催された Ⅳ 会議で、連合側が支払い額の大幅な減額へ譲歩を行った。だがヒトラーは賠償金支払いの履行そのものを拒否した。ドイツはその後、1933年に国際連盟から脱退し、1935年にはヴェルサイユ条約で禁止された再軍備を開始した。また Ⅱ 条約を破棄して1936年に非武装地帯であった Ⅴ へ軍隊を進駐させた。これによってヴェルサイユ体制は崩壊し、ヒトラー政権は他国への軍事侵攻と第二次世界大戦への準備を推し進めた。

問1 空欄 から に当てはまるもっとも適切な語句を次の選択肢からそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|---------------------|-------------|
| a インフレーション | b ウィルソン |
| c 金マルク | d クーリッジ |
| e ケインズ | |
| f 国民(国家)社会主義ドイツ労働者党 | |
| g 新ドイツマルク | h スタグフレーション |
| i スムート=ホーリー | j デフレーション |
| k ドイツ社会主義統一党 | l ドイツ社会民主党 |
| m ドーズ | n ニューディール |
| o ハーディング | p フーヴァー |
| q フランクリン=ローズヴェルト | r マクドナルド |
| s ヤング | t レンテンマルク |
| u ワグナー | |

問2 空欄 から に当てはまるもっとも適切な語句を次の語群Aからそれぞれ一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

語群A

- | | |
|--------------|-------------|
| a アムステルダム | b アルザス・ロレーヌ |
| c ウィーン | d オタワ |
| e オーデル=ナイセ | f ジュネーブ |
| g ダンツイヒ | h チロル |
| i パリ | j ブリュッセル |
| k ブレスト=リトフスク | l ベッサラビア |
| m ヘルシンキ | n ベルリン |
| o ボヘミア | p ポーランド |
| q メーメル | r ラインラント |
| s ルクセンブルク | t ルール |
| u ロカルノ | v ローザンヌ |
| w ロンドン | x ワルシャワ |

世界史

問3 下線部(1)に関して、次の空欄 から に当てはまるもっとも適切な語句を上記問2の語群Aから一つずつ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ドイツ東部では主に、18世紀後半のいわゆる 分割を通じてプロイセンへ併合された諸地域が へ割譲された。ドイツの国土はこれによって二分されたため、ドイツ側はこの地帯を 回廊の俗称で呼んだ。さらにバルト海の商業港として栄えた が国際連盟管理下の自由市となった。またドイツ西部では長くドイツとフランスの係争の地であり、1871年の普仏戦争でドイツがフランスから獲得した がフランスへ割譲された。

問4 下線部(2)に関して、次のア～エのうち、国際連盟に関する説明として正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア アメリカ合衆国は国際連盟の常任理事国となり主導的役割を担った。
- イ 国際連盟の連盟規約はヴェルサイユ条約の中に含まれていた。
- ウ ソビエト社会主義共和国連邦は国際連盟の設立当初からの加盟国であった。
- エ 日本は国際連盟の常任理事国ではなかった。

問5 下線部(3)に関して、次のア～カのうち、欧州の平和と安定への功績を認められ1926年ノーベル平和賞を受けたドイツ人政治家 とフランス人政治家 の名前をそれぞれ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア カール＝リープクネヒト
- イ クレマンソー
- ウ ケロック
- エ シュトレゼマン
- オ ド＝ゴール
- カ ブリアン

問6 下線部(4)に関して、次の問いに答えよ。

ヒトラー政権はユダヤ人のみならず、共産主義者も弾圧した。1933年2月末に発生したある事件をきっかけに、ヒトラーはドイツ共産党を活動禁止へ追い込んだ。この事件の名称としてもっとも適切なものを次のア～オより選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア カップー揆
- イ 国会議事堂放火事件
- ウ 水晶の夜
- エ スパルタクス蜂起
- オ ミュンヘン一揆

問7 下線部(5)の内容に関わる次のア～エの文章のうち、誤っているものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。すべて正しい場合はオを選べ。

- ア ヴァイマル憲法では、公共の安全と秩序が脅かされた場合、大統領にその回復のために必要な措置をとることを認めていた。
- イ 1932年7月、11月の選挙でナチスは議席数をのぼし続けた。
- ウ 1933年1月にヒトラーを首相に任命した大統領はヒンデنبルクである。
- エ ヒトラーの首相任命後、新政府は全権委任法によって国会の立法権を政府に移した。
- オ すべて正しい。